

令和8年度 1学期始業式 式辞（要旨）

新学期のスタートにあたり、私が高校3年生の時に父から教わった言葉を皆さんに送ります。

当時、私は大学受験を控えていましたが、模試の結果が思うように伸びず、自分の計画とかけ離れた現実打ちのめされていました。「もう無理だ」と諦めかけ、志望校のランクを下げようと弱気になっていた時、父が私にこう言ったのです。

「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければ、それは成功になる」

当時の私は、思い通りの結果が出ないことをすぐに「失敗だ」と決めつけ、そこで努力をやめようとしていました。しかし、この言葉に出会い、ハッとさせられたのです。

大切なのは、結果が出なかった時に「なぜそうなったのか」を冷静に振り返り、やり方を変え、修正を繰り返しながら、成功するまで挑み続けること。そのプロセスこそが、本当の意味での「挑戦」なのだと気付かされました。

ちなみに、この言葉はパナソニックの創業者である松下幸之助氏の名言です。

ここで、特に2年生の皆さんに伝えたいことがあります。

皆さんは今、部活動や行事で中心的な存在となり、一方で将来の進路についても具体的な悩みが出始める時期ではないでしょうか。

1年生の時の「憧れ」が、現実的な「壁」となって目の前に現れることもあるでしょう。もし壁にぶつかって、自分の思い通りにいかないことがあっても、それを「失敗だ」と決めつけて、早々に諦めてしまわないでください。

今、この時期に「どうすれば上手くいくか」と粘り強く考え、挑戦を続ける経験こそが、1年後の自分を支える大きな自信、そして本当の強さになります。

さあ、今日から新しい一年間のスタートです。

自分の掲げた目標に向かって、その目標が達成できるまで、失敗を恐れず挑戦し続ける。そんな充実した一年にしていきましょう。